

吉野川市立飯尾敷地小学校



1 学校の概要

- ① 児童数 194名
- ② めざす児童像
 - (1)自ら進んで学ぶ子ども
 - (2)思いやりがあり，助け合う子ども
 - (3)最後までねばり強く頑張る子ども
 - (4)明るく，健康的な子ども
 - (5)礼儀正しく，あいさつがよくできる子ども

③ 環境目標・テーマ

～広げよう，学校と地域の連携で取り組むエコプロジェクト
育てよう，資源と自然を生かし，郷土を愛する人づくり～

2 行動方針

- ① 学校における節電・節水に努めます
- ② 学校におけるゴミの分別に努めます
- ③ 学校におけるリサイクル活動を行います
- ④ 地域の清掃活動に取り組みます

3 行動



電力と水道月別使用量のグラフを掲示



手作りポスターを掲示し節水を啓発

A printed form titled '☆学校版環境ISOチェックカード'. It has a header with the title and a grid below. The grid has 12 columns labeled 6 through 12, and 3 rows. At the bottom, it says 'テーマ「地球にやさしい学校にしよう」'.

学校版環境 ISO チェックシート



1年間に5回行っている古紙回収活動。保護者と児童と教師，そして地域が協力して古紙を集め，一体感が生まれ意識の浸透に一役も二役も担っている。



集団登校班を中心にそれぞれの地域で，通学路等の清掃活動をしなが



ら登校することで地域の方との関わりを深めている。学校まで集めてきたゴミを分別することで，ごみからリサイクルへの意識の醸成と地域の環境美化に貢献した。



4 具体的効果

- ◆ 節電に関しては，こまめにスイッチを切ることはもとより，教室にエアコンが設置されたこともあり，温度設定の共通理解を図り徹底してきた。
- ◆ 古紙回収の回数を重ね地域に浸透してきたためか，出されてきた紙類を分別することが徹底してきた。保護者や地域の中にリサイクルに対する関心が高まってきていることが分かった。
- ◆ 古紙回収活動の収益金は，新刊図書の購入を主目的としている。新しい図書が入ることにより，児童が喜んで本を手にししている光景を数多く見られるようになった。
- ◆ 紙ゴミを分別する意識が高くなってきた。教職員も一度使った紙類の再利用の仕方に工夫が見られるようになった。

5 改善点

- ◆ 保護者や地域の方々，そして教職員の活動に，意識の高揚が感じられる。あとはもう少し児童の意識レベルを上げ，それを実行（活動）に結びつける手だてを考案していく。
- ◆ ゴミの分別は理解できているので，普段の生活の中でゴミを落とさないよさを認識し，その雰囲気醸成する。そのため，今までの実践記録を保存・共有できるシステム等を充実させていく。
- ◆ 発達段階に応じて児童がアイデアを出し合い，実践できることを絞り，節電・節水・リサイクル等についての具体的な方策を構築していく。